

赤旗 1 回目のゲーム再開方法の変更について

2022/10/19 技術委員会資料

<経緯>

- ・ 現在赤旗 1 回目のゲーム再開方法は以下の通りマンツーマン基準規則第 10 条に記載されている。

10-2 1 回目の警告の場合の処置

- 10-2-1 違反内容の説明後、クルーチーフは当該チームのコーチに 1 回目の警告であることを明確に伝える。この間、アンパイア はコート内のプレーヤーを把握し、すぐにゲームが再開できるようにその場に待機させる。
- 10-2-2 当該チームのコーチは、プレーヤーに説明が必要な場合、スコアラーズテーブルの前に 5 人のプレーヤーを集め、簡潔に説明することができる。
- 10-2-3 処置の後、**ゲームクロックが止まったときの状態から、速やかにゲームを再開させる。**
- 10-2-4 ゲームクロックがフリースローを伴うファウルで止まった場合、当該ファウルの罰則のフリースローを行った後、**ゲームクロックが止まったときの状態から、速やかにゲームを再開する。**

以上の通りであり、イリーガルなディフェンスをしたと判定されたチームのボールポジションでゲームが再開されることになっているため、不公平感が強い。

<変更>

- ・ 赤旗 1 回目のゲーム再開方法を「イリーガルなディフェンスをされた、元のオフェンス側のスローインで再開」とする。
- ・ 変更後の基準規則は別添の通りとする。

<変更理由>

- ・ ディフェンスのやり得を防ぐために、ボールポジションを元のオフェンスチームに与える。

<今後の予定>

- 10月6日 マンツーマン推進プロジェクト会議にて了承。
- 10月下旬 ユース育成部会、技術委員会。審判部確認。
- 11月16日 JBA 理事会に提案
- 11月下旬 都道府県協会に通知、HP にて公開。
- 12月11日 全国マンツーマンディレクター会議にて伝達
- 1月上旬 U15 選手権にて先行実施
- 2月下旬 全国審判長会議にて伝達
- 3月下旬 全国ミニにて先行実施（案）
- 4月 全ての都道府県で施行

<変更後の基準規則> 他の修正もあるため、第11条に記載。

11-2 1回目の警告の場合の処置

11-2-1 違反内容の説明後、クルーチーフは当該チームのコーチに1回目の警告であることを明確に伝える。この間、アンパイアはコート内のプレーヤーを把握し、すぐにゲームが再開できるようにその場に待機させる。

11-2-2 当該チームのコーチは、プレーヤーに説明が必要な場合、スコアラーズテーブルの前に5人のプレーヤーを集め、簡潔に説明することができる。

11-2-3 処置の後、**相手チームのフロントコートのスローインライン (U12ではスコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上) からのスローインにより、速やかにゲームを再開させる。**

11-2-4 ゲームクロックがフリースローを伴うファウルで止まった場合、当該ファウルの罰則のフリースローを行った後、**相手チームのフロントコートのスローインライン (U12ではスコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上) からのスローインにより、速やかにゲームを再開させる。**

11-2-5 **ただし、アンスポーツライクファウル・ディスクォリファイファウルなど、フリースローの後にディフェンス側のボール保持から再開するケースはファウルの処置を優先する。**

	状況	再開方法	再開時の24秒計
ボールのコントロールが変わる	Bチームのスティール(ケース1,3)	Aチームのスローイン	U15:14秒にリセット U12:24秒にリセット
	Bチームのディフェンスリバウンド(ケース1)		
	Aチームが得点した場合(ケース5)		
	Aチームのバイオレーション		
	Aチームのファウル(ケース3,6)		
ボールのコントロールが変わらない	アウトオブバウンズ	U15:相手チームのフロントコートのスローインラインからのスローイン	U15:14秒にリセット U12:24秒にリセット
	Bチームのファウル	U12:スコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上からのスローイン	
	Bチームのキックボール		
その他	ジャンプボールシチュエーション(ケース4) *1		U15:14秒にリセット U12:24秒にリセット
	Bチームのショット動作中へのファウル(ケース2)	Aチームのフリースロー(リバウンダーなし)の後、Aチームのスローイン	
	Aチームのショット〜リバウンド時Aチームのファウル(チームAのファウル5回目以上の場合)	Bチームのフリースロー(リバウンダーなし)の後、Aチームのスローイン	
	アンスポーツマンライクファウル(UF) ディスクォリファイファウル(DQ)	DQ/UFのファウルの処置を優先し、ルールに沿ったスローインで再開 *2	
	オフェンス側 :Aチーム ディフェンス側:Bチーム とする *1:ジャンプボールシチュエーションを無効とし、アローが示すスローインの権利を行使せずにスティールと同様に処理する。理由として、ジャンプボールシチュエーションになったのはイリガルなディフェンスが引き起こしたことから考えるため。	*2:マンツーマンペナルティの処置を行わないが、マンツーマンペナルティの警告を取り消すものではない。	

以上